

# 令和3年度 東京都自立支援協議会セミナー 実施報告

## 3 プログラム構成のねらい

(実行委員による検討より)

### 1 テーマ設定理由

○今年度の活動方針に「当事者の視点に立って地域課題を検討する」とあることから、「本人の」が肝になっているのではないかと。

○「住み慣れた地域で、暮らし続ける」という視点で、本人の意思決定支援の話ができればいいのではないかと。本人にとっても、支援者にとっても、可能であれば家族も、本人の意思はどこにあったのかと振り返る機会が必要ではないかと。

○地域移行が善と思って進めていても、ご本人にとってはやはりハードルが高かったり、不安に駆られたりすることも多分あったらと思う。当事者の想いや視点に立った地域移行に向けた課題は何かを、考えるきっかけにできたらと思う。

○地域移行・地域定着支援には、そのプロセスや本人が安心安全と思える効果的なモデルの情報や事例が地域自立支援協議会に活かされるのではないかと。当事者の声を交えて、地域でどのようなプロセスが有効かなど支援についてもヒントになることがあればと思う。

○そのプロセスなどを地域自立支援協議会でも共有し、参考となるよう、登壇者を考えたい。

○研究の話だけでなく、実践する支援者や当事者の声を聴くことで、より現実的な課題や事例を聞くことができるのではないかと。

○確かに「意思決定支援」はとても大事で、地域移行するにしても、この意思の確認や体験が何よりも重要であると思う。一方で、地域移行・地域定着支援のきっかけや目的、具体的活動などを通して、家族、施設職員、地域の変化を聞いてみたい。

### 2 開催方法

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度同様、感染防止を考慮した人数等による会場とオンライン配信とを並行して開催

## 4 参加者アンケート

回答数：143 (会場参加 101名、動画視聴 42名)

### 第1部 基調講演

大変参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった	無回答
58 (40.6%)	70 (48.9%)	12 (8.4%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)

#### <自由意見>

○限られた時間だったが、様々な立場から地域移行を捉える視点や背景を知ることができた。

○「経験していないことは選択肢として選べない」は、そのとおりだと思った。○これまで地域移行支援を実践してきたが、経験や流れで実現してきたように思う。エビデンスに沿った支援の有効性を感じた。

○地域移行を手探りで行っており、方法論がなかった。評価測定ができることPDCA サイクルにも繋がられるので、是非取り入れたいと思った。目に見える評価は、職員のためにもなる。

○モデルケースを細かく分析し、プロセスを明確にし、誰もが実践できるものに落とし込んでいくというやり方など参考になった。

○難しかった。

### 第2部 パネルディスカッション

大変参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった	無回答
97 (67.8%)	44 (30.8%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)

#### <自由意見>

○改めて、ご本人の「ありのままの姿」を大切にしたいと感じた。「したいこと＝自立」そのものを応援できるかと再考する機会になった。

○支援者として励まされた。ご本人の言葉で直接想いを聞かせていただく機会のパワーを感じた。

○利用者へ寄り添うということを改めて考える機会になった。

○お二人の体験から、意思決定を支える条件が大切なことが伝わってきた。急がず、本人の意思がしっかり出てくるのを待つことが大切だと教わった。

○自信を取り戻し一歩踏み出すには、まず体験することが大事。その資源も必要だと感じた。

○一歩一歩、支援者とご本人が歩調を合わせていることがとても印象的だった。自分の想いを表出できるようになるまでの信頼関係をつくっていることが素晴らしいと思った。